

令和3年10月15日

保護者各位

鳥栖市立田代小学校
校長 楨原 さゆり

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和3年度全国学力・学習状況調査について

令和3年5月27日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
※平成31年度(令和元年度)より、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に調査されています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
※学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・ 国語の平均正答率は、全国正答率を上回っており、良好な結果でした。無解答率が全国平均に比べて低く、自分の考えを表現しようとする意欲の高さが見られました。
- ・ 観点別では、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」とともに、全国正答率を上回りました。領域別でも、「言語についての知識・理解・技能」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の全ての領域で、全国正答率を上回りました。とりわけ、「読むこと」は、全国正答率よりも大きく上回っており、読む力や要旨をまとめる力が高まっていることが分かります。しかし、「文章と図表などを結び付けて必要な情報を見つける」問題では、全国正答率よりやや低い正答率となり、課題が見られました。文章の中から、内容を簡潔に表すキーワードを見つけたり、資料に見られる特徴を自分の言葉で表現したりする学習を取り入れ、読む力をより高めていけるよう指導していきます。
- ・ 問題形式で見ると、短答式の問題では、ほとんどの問題で全国正答率を上回っていましたが、記述式の問題では、下回っている問題がありました。日々の授業の中で、自分の考えをまとめ、表現する場をより多く設定し、記述する力を高めていくようにします。

(2) 算数について

- ・ 算数の平均正答率は、全国正答率を上回っていましたが、無解答率も全国平均より低く、自分の考えを表現しようとする意欲の高さが見られました。
- ・ 観点別では、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」とともに、全国正答率を上回りました。領域別でも、「数と計算」「変化と関係」「データの活用」において、全国正答率を上回りました。しかし、「図形」領域及び「測定」領域で全国正答率を下回っていましたが、複数の図形を組み合わせた図形の構成の仕方を捉え、その面積の求め方を考える問題など、図形領域での思考力を高めたり、技能を習熟させたりすることについて、今後、より力を入れて

指導していきます。

- ・ 問題形式で見ると、短答式の問題も記述式の問題も、ほとんどが全国正答率を上回っていました。今後も引き続き、与えられた文章や図、表などから必要なことを考えたり、一定の条件の中で答えをまとめたりする力を育てる指導を行っていきます。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

○全69の質問項目から、全国と比較したときに概ね良好な結果であった項目について

質問項目	本校の割合(%)	全国の割合(%)
朝食を毎日食べていますか。[食べている・どちらかといえば食べている]	100.0%	94.9%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。[思う・どちらかといえば思う]	100.0%	96.8%
学校に行くのは楽しいと思いますか。[思う・どちらかといえば思う]	85.4%	83.4%
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。[思う・どちらかといえば思う]	79.2%	70.1%
算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか。[思う・どちらかといえば思う]	95.9%	92.6%
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。[考える・どちらかといえば考える]	87.5%	83.7%

- ・ 朝食の摂取状況は、毎日食べている(87.5%) どちらかといえば食べている(12.5%)で、朝食を食べずに登校している児童はいませんでした。併せて、毎日同じくらいの時刻におきている児童が91.7%という結果で、基本的な生活習慣の根幹が整っていることがうかがわれました。
- ・ いじめについての質問には、全ての児童が肯定的な回答をしていました。また、学校に行くのを楽しいと感じている児童の割合も全国と比べて高い結果でした。学校生活を楽しく過ごすためにも、「いじめを許さない」という一人一人の意識を高めておく必要があります。児童の現在の気持ちを、今後も継続し、さらに高めていくために、引き続き指導を行っていきます。
- ・ 友達と話し合う活動や様々な意見を聞く活動に対して楽しさを感じている児童が、全国の割合に比べて高かったです。教科の学習や学級活動等での積み重ねの中で、友達との対話や交流に楽しさを見いだすことができるよう、今後も活動の工夫を続けていきます。
- ・ 本校では6年生の家庭学習目標時間を70分と設定しています。しかし、月～金曜日の1日当たりの家庭学習時間が「1時間未満」と答えた児童は43.8%でした(同質問項目における全国の割合は37.5%)。家庭での学習時間が短いことが課題として見えています。今後、授業とつながる課題、自主的にじっくり取り組める課題等、家庭学習の課題の見直しや工夫を行うとともに、家庭学習の大切さについても継続して指導していきます。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・ 児童がより意欲的・主体的に学ぶことができるよう、児童の発言を大切にされた対話の多い授業づくりを今後も継続して行います。また、朝の「田代タイム」で、話す・聞く力を育てる指導を行い、基礎・基本の定着を図ったり、「ふりかえるくん週間」を設定し、自分のがんばりや課題を振り返らせ、意欲の継続を促したりして、学習規律・習慣の充実を図ります。
- ・ 家庭学習の充実に向けて、自主学習の取組も推奨していきます。また、学級通信等を活用して家庭と連携しながら、望ましい生活習慣や学習習慣の定着を図ります。
- ・ 【家庭学習のしおり】を参考にご家庭でも次のようなことに心がけていただければと思います。

1 家庭での学習環境を整え、学習時間を確保してください。

- ◎学習する場所や時間を決め、学習習慣を身に付けさせましょう。
- ◎テレビやゲームの時間やルールを決め、長時間にならないようにしましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎「早寝・早起き・朝ご飯」で、元気とやる気の出る体と心を育てましょう。
- ◎会話を多くもち、お子さんががんばった過程やできたことを大いにほめましょう。